長崎四丁目地区まちづくり協議会

平成 30 年 3 月発行

まちづくりReport

No.2

“ にぎわいと閑静が調和する 暮らしやすいまち 東長崎 ”

協議会の活動報告

まちづくり提言が完成しました

第４回の協議会において、豊島区へ提出すべき「まちづくり提言」を作成し協議会においてこれを承認いたしました。今後、会長及び副会長において本「提言」を区長に直接面会のうえお渡し致し、その後この「提言」についてのご回答を頂ける予定です。その際には、会員の皆様にも本会報をもってご報告申し上げます。

「まちづくり協議会」といたしましても、その活動の第１歩を踏み出すことが出来ましたが、これからが協議会の目的である「長崎四丁目地区まちづくり」の実質的な活動になります。今後とも“より良いまちづくり”に会員皆様のご協力ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

協議会を２回開催しました

第４回協議会

日時　：平成 30 年１月 30 日（火）
場所　：特別養護老人ﾎｰﾑｱﾄﾘｴ村会議室
出席者：会員 13 名

議事
1．まちづくり提言案のまとめ
2．今後の活動について

決議事項
1．まちづくりのコンセプトの確定
2．「まちづくり提言」が委員満場一致で可決

■当日の議論の様子

第５回協議会

日時　：平成 30 年３月６日（火）
場所　：特別養護老人ﾎｰﾑｱﾄﾘｴ村会議室
出席者：会員 14 名

議事
1．まちづくり提言について
2．今後の活動について
3．まちづくりニュースの発行について

決議事項
1．部会及び各部会担当者の決定
2．まちづくりニュース２号紙面構成の確定

部会	部会長	委員
環境部会	高崎　亮	鎌田雅子、末野利治、宮田重
商業地域部会	新井保之	赤沼宏幸、小宮勲、高野勝雄
歴史・文化部会	斉藤康芳	石川弘志、山岸巌
広報会報部会	竹田克也	赤沼宏幸、高崎亮、中村洋三

■部会及び各部会の担当者

内容にご興味をお持ちの方は、今後の協議会へ是非ご参加ください！
将来のまちづくりについて一緒に考えて行きましょう!!

～長崎四丁目地区の歴史～ Vol. 2

不燃化、耐震化による防災まちづくりの一環として長崎四丁目地区の新しいまちづくり計画が始まった昨今、古くからのこの街に住み、この街を愛してきた住人の一人として昔のことを少し思い出してみました。昭和２２年、小学校１年の時に私は東長崎に引っ越してきました。当時の東長崎駅は何か田舎っぽく、改札口は南口の１ヶ所でした。私の住んでいる今の駅北口近くには大きなお屋敷が何件もありました。当時は路上でメンコやベイごま、正月には羽根つきや凧揚げなど楽しんだもので、夏にはお屋敷の庭の高木に止まっている蝉を長い竹先につけたモチで捕まえたり、スズメをゴムのパチンコで狙い撃ちをしたものでした。千早小学校のあたりにはまだ畑が随分残っていました。道路脇に干してあった乾燥芋の風景も目に浮かびます。千早中学校（現・明豊中学校）の脇には千川上水（現在は暗渠）が流れ、堤にはソメイヨシノの桜並木で、清流に入って小鮒やタニシを取って遊んだことも懐かしい思い出です。

運営委員　I.Y

千川上水と桜並木　昭和 31 年２月撮影　個人蔵

駅前ニュース

東長崎駅北口周辺地区では、昨年８月に協議会を設立後、現行法規の確認や概略ボリューム案の検討、事業手法についての検討等の議論を重ねており、この３月までに合計４回の協議会を開催しました。様々な検討課題の中でも特に重要なのは、駅前地区のまちづくり目標やまちづくり方針に関する検討で、今後、計画案をまとめていくに当たっての基本的な方針となるものです。先般まとめられました「長崎四丁目地区まちづくり提言」の内容も踏まえつつ、東長崎駅前にふさわしい新たなまちづくりの計画案について、協議会等での議論を重ね、事業計画の素案をまとめられるよう検討を進めておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

東長崎駅北口周辺地区共同化事業協議会 事務局

今後の予定

■次回の協議会
平成 30 年６月上旬頃に開催予定。

■今後の進め方
協議会の開催と併せて、各部会での検討も進めていきます。

編集後記

まだまだ寒いですがこのニュースが届くころには暖かくなっているころかと存じます。今回の編集でタイトルを、“まちづくりニュース”から、“まちづくり Report”へ変更しました。またタイトル部分に協議会で話し合った“まちづくりのコンセプト”を追加しました。だいぶ“まち主体”の協議会ニュースになったかと思います。来年度は提言に沿って具体的なお話をリポートできるかと思います。

広報部　高崎

発　　行　：長崎四丁目地区まちづくり協議会
問合せ先　：豊島区都市整備部地域まちづくり課　03-3981-3449（直通）
編集協力　：株式会社地域計画連合

長崎四丁目地区まちづくり提言の内容

平成 27 年度から作成を進めてきた“長崎四丁目地区まちづくり提言”が、1 月 30 日（火）の協議会で完成となりました。以下にその概要を掲載します。

まちづくりのコンセプト　にぎわいと閑静が調和する　暮らしやすいまち　東長崎

提言１　まちの魅力の向上

まちの価値・個性を守り、また、新たな価値を取り入れ、次世代に引き継ぐべき地域ブランドとして居住者・来街者に積極的に発信していきたいと考えます。

- ✧ 駅前地区は、東長崎駅北口の顔となる公共スペースの整備と施設のリニューアルを推進
- ✧ 補助 172 号線沿道地区は、長崎十字会商店街の良さを活かした地域ブランドを演出
- ✧ 住宅地区は、四丁目の魅力である落ち着いた住環境を維持・形成

提言２　多世代が暮らしやすいまち

誰もが暮らしやすく、住み続けられるまちを実現していきたいと考えます。

- ✧ 単身者、ファミリー世帯が暮らせる多様な住戸をバランス良く供給
- ✧ 子育て・共働き世帯が暮らしやすい環境づくりを推進
- ✧ 若者にも魅力的な、暮らしやすい環境づくりを推進
- ✧ 子どもやお年寄りに安全な歩行者空間を確保

提言３　安全・安心のまち

災害に強く、安全・安心に暮らすことのできるまちを実現していきたいと考えます。

- ✧ 補助 172 号線と連絡する地区の防災上安全な避難路を確保
- ✧ 災害時の一時避難・集合場所となる、防災機器が設置された広場を整備
- ✧ 個別建替えにより、中低層住宅等の不燃化を誘導
- ✧ 建替え時の緑化により、災害に強く潤いのあるまちを形成

地区整備方針図

提言４　沿道、まちとしてのにぎわい軸の形成

補助 172 号線沿道と、商店街の南北を中心としたにぎわい軸を形成していきたいと考えます。

- ✧ 長崎十字会商店街のあたたかさ、親しみやすさ、利便性を維持するとともに、地域ブランドを演出する街並みを形成
- ✧ 駅前と分担しつつ、新しい機能を持った店舗や施設を誘致
- ✧ 共同住宅を積極的に導入し、新しい住民の居住や沿道の住民が住み続けられるための方策を検討
- ✧ 道路整備による建替えを促進し、中層建物を中心とした、中高層の変化のある街並みを誘導
- ✧ 住宅地が近接する道路沿道に相応しい、良好な景観を形成
- ✧ 歩行者が安全に通行、買い物を楽しめ、季節や潤いを感じることのできる緑あふれる歩行者空間を整備

提言５　東長崎駅北口駅前地区の再生

長崎四丁目の玄関口である東長崎駅北口駅前地区を再生していきたいと考えます。

- ✧ 密集地区の改善のため、建築物と広場や道路空間の街区再編を含めた一体的な整備を検討
- ✧ 東長崎の顔となる、便利で多用途な施設が入る共同ビル（低層店舗・公共施設・事務所・高層住宅）の計画を検討
- ✧ 駅の利用が便利となる補助 172 号線からのアクセス性を向上
- ✧ 歩行者優先の安全で快適な空間を確保
- ✧ 賑わいを創出する空間を確保

提言６　協働で進める地域のまちづくりに向けて

住民、町会、商店会等を中心に組織された「長崎四丁目地区まちづくり協議会」が地域のつなぎ役となり、さまざまな活動団体や行政と連携しながら、課題解決のための検討を進めます。また、まちづくりの活動を進めるのに必要な取り組みや、地域の活性化につながる具体的な取り組みについても継続して検討していきます。